

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年04月01日

計画の名称	坂東市地域利便施設整備計画											
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	坂東市											
計画の目標	首都圏中央連絡自動車道（以下、圏央道）は、平成29年に茨城県内区間が全線開通し、現在は4車線化整備が実施されている。4車線化整備に合わせ、道路事業者によるパーキングエリア（以下、PA）の整備も実施されており、隣接地には 本市において、道路利用者の利便性の向上、地域振興を目的に坂東市地域利便施設整備計画の検討を進めてきた。当該整備計画には、桜の里山公園事業が含まれており、PAと連結することにより圏央道利用者や地域住民の利用が見込まれる。 特に「防災機能」については、地域利便施設が坂東市地域防災計画において圏央道の広域幹線道路機能を活かした周辺市町及び地域住民の避難場所、被災地の支援・救援活動拠点として位置付けられていることから、桜の里山公園を防災拠点として整備する。なお、桜の里山公園事業については、圏央道利用者や地域住民・市民の「休憩施設」や「防災施設」としての機能が求められており、特に近年頻発する災害に対して、圏央道の広域幹線道路機能を活かした周辺市町及び地域住民の避難場所、被災地の支援・救援活動拠点としての機能が求められている。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,581	A	1,581	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R6末)	最終目標値 (R8末)
1	広域避難地となる防災公園の整備により、安全に避難できる人口を0人/日（R4）から6,000人/日（R8）に増加させる。 整備計画期間における防災に寄与する都市公園の整備による避難可能人数	0人/日	1000人/日	6000人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
坂東市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A12-001																

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	坂東市	直接	坂東市	-	-	桜の里山公園事業	備蓄倉庫、ヘリポート、広場、園路等	坂東市						1,561	1.49	-	
	A12-002	公園	一般	坂東市	直接	坂東市	-	-	桜の里山公園事業(5か年防公)	雨水貯留施設	坂東市						20	1.49	-	
											小計						1,581			
											合計							1,581		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	26	90			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	26	90			
前年度からの繰越額 (d)	0	17			
支払済額 (e)	9	32			
翌年度繰越額 (f)	17	75			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					